

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成30年10月31日

【四半期会計期間】 第17期第3四半期(自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日)

【会社名】 GMOペパボ株式会社

【英訳名】 GMO Pepabo, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐藤 健太郎

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区桜丘町26番1号

【電話番号】 03-5456-2622 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 五十島 啓人

【最寄りの連絡場所】 東京都渋谷区桜丘町26番1号

【電話番号】 03-5456-2622 (代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 五十島 啓人

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第3四半期 累計期間	第17期 第3四半期 累計期間	第16期
会計期間	自 平成29年 1月 1日 至 平成29年 9月30日	自 平成30年 1月 1日 至 平成30年 9月30日	自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日
売上高 (千円)	5,484,740	6,089,167	7,365,338
経常利益 (千円)	237,320	457,385	172,823
四半期(当期)純利益 (千円)	215,374	401,431	119,820
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	159,677	159,677	159,677
発行済株式総数 (株)	2,717,300	2,717,300	2,717,300
純資産額 (千円)	1,303,393	1,639,413	1,223,048
総資産額 (千円)	4,922,238	5,732,320	5,376,958
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	81.76	152.39	45.49
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	152.29	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	25.00
自己資本比率 (%)	25.2	27.5	21.6

回次	第16期 第3四半期 会計期間	第17期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 平成29年 7月 1日 至 平成29年 9月30日	自 平成30年 7月 1日 至 平成30年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	44.32	50.07

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第3四半期累計期間及び前事業年度の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期財務諸表 注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本項に記載した将来事象に関する予測・見通し等は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、それらには不確実性が内在し将来の結果とは大きく異なる可能性があります。

(1) 経営成績の分析

当社は、「インターネットで可能性をつなげる、ひろげる」というミッションの下、主に個人の表現活動を支援するための様々なウェブサービス及びスマートフォンアプリを提供しております。

その中でも、作品数、作家数国内No.1のハンドメイドマーケット「minne」においては、オフライン施策の継続的な実施に加え、Web広告の強化を図るプロモーションを実施しております。その結果、当第3四半期累計期間におきましては、スマートフォンアプリの累計ダウンロード数は997万DLとなり、10月6日には1,000万DLを突破しました。また、同期間の流通金額は88億円（前年同期比19.0%増）となり、「minne」へのプロモーションコスト（広告宣伝費、販売促進費及びポイント引当金繰入額）は、TVCMの放映は行わず、Web広告の展開や各種クーポン施策に注力したことにより、805,332千円（前年同期比7.2%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高6,089,167千円（前年同期比11.0%増）、営業利益398,220千円（前年同期比78.4%増）、経常利益457,385千円（前年同期比92.7%増）、四半期純利益401,431千円（前年同期比86.4%増）となりました。

また、国内におけるセキュリティ市場の拡大に伴い、多くの個人ユーザーがインターネット上で安全に表現活動を行うことができる環境の提供を主な目的として、情報セキュリティサービスに特化した「GMOペパボガーディアン株式会社」を9月3日に設立いたしました。当該子会社を通じ、様々なセキュリティ対策支援を行うとともに情報セキュリティサービスを展開する企業及び団体との共同研究、業務提携及びM&A等も積極的に行い、事業拡大を図ります。

(セグメント別の状況)

第1四半期会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

ホスティング事業

ホスティング事業には、個人からビジネスまで幅広い用途にご利用頂けるレンタルサーバー「ロリポップ！」及びドメイン取得代行「ムームードメイン」等が属しております。

「ロリポップ！」におきましては、初期費用無料キャンペーン等の実施により、レンタルサーバーの契約件数は堅調に推移し、438,307件（前年同期末比1,141件増）となりました。

「ムームードメイン」におきましては、8月20日にサイトデザインの一新を図るとともに、ドメイン検索機能の改善等も行ったことから、登録ドメイン数は1,242,667件（前年同期末比15,736件増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におけるセグメント売上高は3,306,812千円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は1,073,551千円（前年同期比8.3%増）となりました。

EC支援事業

EC支援事業には、国内最大級のオンラインショップ作成サービス「カラーミーショップ」及びオリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」等が属しております。

「カラーミーショップ」におきましては、1月7日に発生いたしました情報流出のインシデントの影響により、各種キャンペーン等の実施を控えたことから契約件数43,623件（前年同期末比1,561件減）となりましたが、継続的に行っていたアップセル施策により、前年同期と比較して、顧客単価は上昇いたしました。

「SUZURI」におきましては、アクリルブロックや吸着ターボリンなどインテリアグッズを追加する等、作成可能アイテムの拡充を図るとともに、複数のセールを実施いたしました。

また、4月1日には、株式会社ベーシックよりオンデマンドオリジナルグッズ作成サービス「Canvath」事業を譲り受け、同日より当社サービスとして運営しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間におけるセグメント売上高は1,510,650千円（前年同期比27.6%増）、セグメント利益は645,146千円（前年同期比14.5%増）となりました。

ハンドメイド事業

ハンドメイド事業には、ハンドメイドマーケット「minne」及び「tetote」が属しております。

「minne」におきましては、継続的な機能改善及び機能追加を行うことで利便性の向上を図るとともに、積極的なクーポン施策を展開することで販促活動の強化を図った結果、当第3四半期累計期間における流通金額は88億円（前年同期比19.0%増）と堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におけるセグメント売上高は1,142,352千円（前年同期比11.3%増）、セグメント損失は535,661千円（前年同期間はセグメント損失670,794千円）となりました。

その他

その他には、主にブログサービス「JUGEM」が属しており、平成29年2月1日付けで「PEPABO WiMAX」を事業譲渡したことから当第3四半期累計期間におけるセグメント売上高は129,352千円（前年同期比28.1%減）、セグメント利益は23,752千円（前年同期比72.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における総資産は5,732,320千円（前事業年度末比355,362千円増）となりました。これは、主に現金及び預金が122,161千円減少した一方で、関係会社預け金が200,000千円、投資有価証券が158,056千円及び無形固定資産が133,922千円増加したことによるものであります。

負債は4,092,906千円（同61,003千円減）となりました。これは、主に前受金が67,079千円、預り金が63,960千円、営業未払金が45,590千円及びポイント引当金が22,128千円増加した一方で、未払金が299,570千円減少したことによるものであります。

純資産は1,639,413千円（同416,365千円増）となりました。これは、主に利益剰余金が335,577千円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

1月7日にオンラインショップ作成サービス「カラーミーショップ」に対する不正アクセスがあり、情報流出及びその可能性が発覚いたしました。当社はこれを受け、全社を挙げて技術面及び組織面の強化を着実に実施することで、セキュリティ強化を推進し、全てのステークホルダーの皆様の信頼回復に努めてまいります。

(4) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は19,361千円であります。

なお、当第3四半期累計期間において当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,000,000
計	3,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成30年10月31日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,717,300	2,717,300	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	2,717,300	2,717,300		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日	-	2,717,300	-	159,677	-	149,677

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 82,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,632,700	26,327	
単元未満株式	普通株式 1,700		
発行済株式総数	2,717,300		
総株主の議決権		26,327	

【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) GMOペパボ株式会社	東京都渋谷区桜丘町26番1号	82,900		82,900	3.05
計		82,900		82,900	3.05

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、以下のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
常務取締役 (EC事業部長)	常務取締役	星 隼人	平成30年7月17日

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりであります。

資産基準	0.4%
売上高基準	-%
利益基準	0.0%
利益剰余金基準	1.1%

1 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,591,185	1,469,023
関係会社預け金	800,000	1,000,000
売掛金	1,745,308	1,751,382
商品	-	4,986
貯蔵品	2,068	1,829
その他	232,982	226,826
貸倒引当金	13,186	12,367
流動資産合計	4,358,358	4,441,680
固定資産		
有形固定資産	297,795	273,655
無形固定資産	245,244	379,166
投資その他の資産		
投資有価証券	366,200	524,256
その他	109,360	113,560
投資その他の資産合計	475,560	637,816
固定資産合計	1,018,600	1,290,639
資産合計	5,376,958	5,732,320
負債の部		
流動負債		
営業未払金	121,595	167,186
未払金	1,627,462	1,327,891
未払法人税等	30,210	38,970
前受金	1,678,202	1,745,282
預り金	381,494	445,454
賞与引当金	41,094	10,892
役員賞与引当金	7,000	-
ポイント引当金	-	22,128
その他	212,909	246,451
流動負債合計	4,099,969	4,004,257
固定負債		
資産除去債務	27,104	27,187
その他	26,835	61,461
固定負債合計	53,940	88,648
負債合計	4,153,909	4,092,906

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	159,677	159,677
資本剰余金	149,677	149,988
利益剰余金	1,056,204	1,391,782
自己株式	254,976	254,483
株主資本合計	1,110,583	1,446,964
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50,393	130,567
評価・換算差額等合計	50,393	130,567
新株予約権	62,071	61,881
純資産合計	1,223,048	1,639,413
負債純資産合計	5,376,958	5,732,320

(2) 【四半期損益計算書】

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,484,740	6,089,167
売上原価	2,194,141	2,436,025
売上総利益	3,290,598	3,653,142
販売費及び一般管理費	3,067,405	3,254,921
営業利益	223,193	398,220
営業外収益		
受取利息	1,159	1,450
受取配当金	-	28
投資事業組合運用益	13,122	56,114
ポイント失効益	-	5,870
保険返戻金	1,499	569
その他	2,134	1,862
営業外収益合計	17,915	65,896
営業外費用		
投資事業組合運用損	2,024	5,026
その他	1,763	1,704
営業外費用合計	3,788	6,731
経常利益	237,320	457,385
特別利益		
親会社株式売却益	-	8,960
受取保険金	-	33,598
その他	-	2,521
特別利益合計	-	45,081
特別損失		
情報セキュリティ対策費	-	48,769
その他	-	6,670
特別損失合計	-	55,440
税引前四半期純利益	237,320	447,026
法人税、住民税及び事業税	22,461	46,047
法人税等調整額	515	452
法人税等合計	21,945	45,595
四半期純利益	215,374	401,431

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
減価償却費	151,745千円	152,769千円
のれんの償却額	- 千円	6,000千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年2月20日 取締役会	普通株式	79,024	30.00	平成28年12月31日	平成29年3月21日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年2月19日 取締役会	普通株式	65,853	25.00	平成29年12月31日	平成30年3月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,095,399	1,183,463	1,025,968	5,304,830	179,909	5,484,740	-	5,484,740
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3,095,399	1,183,463	1,025,968	5,304,830	179,909	5,484,740	-	5,484,740
セグメント利益 又は損失()	991,563	563,643	670,794	884,412	86,993	971,406	748,212	223,193

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEM及びPEPABO WiMAXを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 748,212千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	ホスティング 事業	EC支援事業	ハンドメイド 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,306,812	1,510,650	1,142,352	5,959,815	129,352	6,089,167	-	6,089,167
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3,306,812	1,510,650	1,142,352	5,959,815	129,352	6,089,167	-	6,089,167
セグメント利益 又は損失()	1,073,551	645,146	535,661	1,183,036	23,752	1,206,789	808,568	398,220

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、JUGEMを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 808,568千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「EC支援事業」セグメントにおいて、平成30年4月1日付けで株式会社ベーシックから「Canvath」の事業譲受を行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間において54,000千円でありませぬ。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来記載しておりました「コミュニティ事業」について量的な重要性が乏しいため、「その他」の区分に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 3 四半期累計期間 (自 平成29年 1 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成30年 1 月 1 日 至 平成30年 9 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	81円76銭	152円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	215,374	401,431
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	215,374	401,431
普通株式の期中平均株式数(株)	2,634,154	2,634,162
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	-	152円29銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	1,881
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	(新株予約権) 平成27年 3 月 3 日付与 ストック・オプション 潜在株式の数 65,400株	-

(注) 前第 3 四半期累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年10月30日

GMOペパボ株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小野 英樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高木 政秋 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているGMOペパボ株式会社の平成30年1月1日から平成30年12月31日までの第17期事業年度の第3四半期会計期間(平成30年7月1日から平成30年9月30日まで)及び第3四半期累計期間(平成30年1月1日から平成30年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、GMOペパボ株式会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。